tripteron var. simplicissimum TAGAWA ト名付ケテ 發表セラレテ以來、注意 シテ來テ居タノデアツタガ、圖ラズモ同變種ヲ此ノ地ニ一株得ルコトガ出來タ。 寫眞ニ見ラル、通リ、最下羽片ガ非常ニ縮少シテヰル。

田川理學士ョリノ來信=依レバ、本變種ノ産地ハ此レ迄二ケ所シカ知ラレテ 居ナカツタガ、之デ三ケ所トナツタ。然シじふもんじしだノ存ル所ニハ、廣ク 分布スルモノデアラフト述ベテ居ラレル。今以上三ケ所ノ産地ヲ擧ゲレバ丹波 國長老嶽、近江國、出雲國岩屋寺(八東郡)デアル。

此ノ標本ハ Herb. Minoru Hayashi no. 2244 トシテ、私ノ手許=保管シテ置ク。

末筆ナガラ、種々御指導ヲ仰イデ居ル田川理學士ニ對シテ感謝ノ意ヲ表スル。

み グ お 集 (共二)

小林義雄 亘理俊次

Y. Kobayashi and S. Watari: Microphotographs of lower plants (II)

11-12. Nostoc verrucosum Vaucher (Nostocaceae)

念球藻屬ノ中デハ極メテ普通ニアル種類デアツテ、廣ク各地ニ分布シ、淡水中ノ石ノ上ニ多數ノ疣狀ノ塊ヲナシテ固着シテヰル。昨年ノ秋、天城山麓ヲ下田へト走ラセテ居ツタ時ノ事、丁度、淨蓮瀧口へ差シカ、ラウトスル道ノ左側、小サナ瀧ノ落チテヰル岩面ニー面青黑イモノガ密布シテヰルノニ氣が附イタ。一寸下車シテ採集シテ來タノガ之レデアル。本種ノ群體ハ幼時ハ固ク、球形又ハ半球形ヲナシテヰルガ成長スルニ隨ヒ、横ニ擴リ徑數糎ニ及ブ。最後ニ內部ハ空虚トナリ基物ヨリ離レテ水中ニ浮游スルト書物ニ書イデアル。第 11 圖ハ群體ヲ縱斷シタモノデ、絲ハ不規則ニ走ツテヰルガ、中心ニ至ルニシタガヒ、次第ニ縱ニ並ブ。12 圖ハ更ニ擴大シタモノデ、細胞中ニアル核狀ノ點ハ、例ニヨリ Volutin Körper ヲメチレンブラウニテ染メタモノ、大形ノ細胞ハ異質細胞デアル。 採集地: 伊豆天城山麓(Nov. 1933)

13-14. Dichothrix sp. (Rivulariaceae)

池中ノ朽葉ノ上=生ジ、褐色ノ短イ房狀ヲナシ、長サ 1.5cm 程アル。一本

一本ノ糸狀體ノ形ハ Rivularia 等ト異ラナイガ彼ノ様ニ球狀ノ 群體ヲ形成セヌ。一本又ハ數本 ヅ、淡褐色ノ敷層ョリナル鞘ニ 入レラレ、鞘ノ幅ハ 15μ 内外、 糸狀體ハ密ニ隔壁ヲ有シ、先端 部ハゆシ細クナツテヰルガ細胞 ノ形ハ同ジデ、一個ノ細胞ニテ ハ、長サヨリ幅ノ方ガ廣イ。各 糸狀體ノ基部ニー個ノ異質細胞 ヲ有スル。楕圓形、球形、半球形 等ヲ呈シ、幅ハ 6-10µ。 本種ハ D. spiralis ノ記載=非常=一 致シ、糸狀體ノ所々ニ縱ニ壓縮 セラレタ所ノアル點モ似テヰル ノデアルガ、後者ハ元來、**アフ** リカ産デアルシ又種類トシテ疑

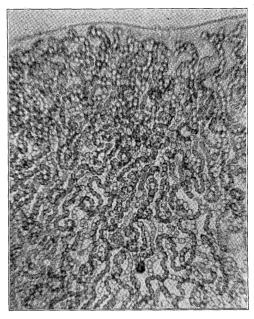


Fig 11. Nostoc verrucosum Vaucher ×270

問ノ點モアルノ デ、一先ヅ、未定 ノ種類ト致シテ 置ク。

採集地: 野州、鬼怒川(Nov. 1933).

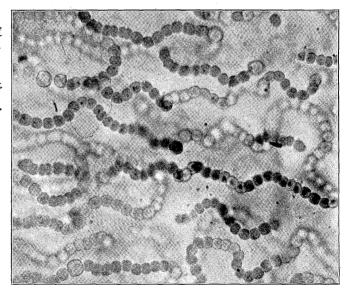


Fig 12. Nostoc verrucosum $Vaucher \times 800$



Fig 13. $Dichothrix sp. \times 70$

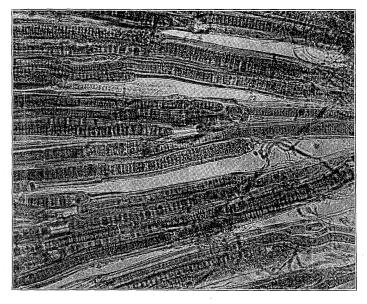


Fig 14. $Dichothrix\ sp. \times 300$

15. Phylloderma sacrum Sur. 水前寺苔 (Chroococcaceae)

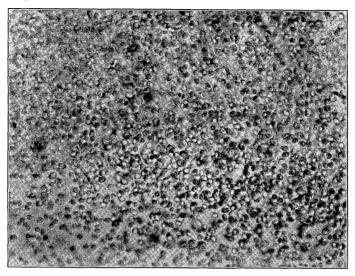


Fig 15. Phylloderma sacrum Sur. ×300



Fig 16. Microcystis sp. \times 70 — 69 —

芭蕉ノ句ニ「吸物は先づ出來されし水前寺」トイフノガアルガ、古ョリ此ノ

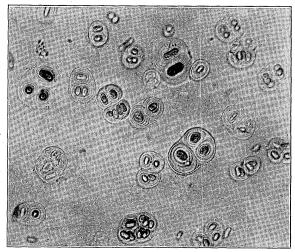


Fig 17. Gloeocapsa caldariorum RABH. ×300

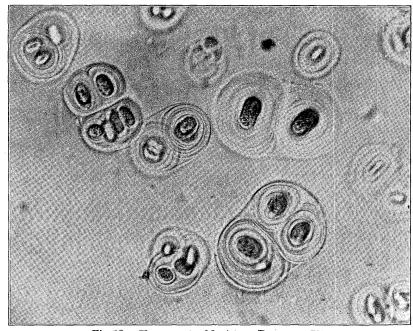


Fig 18. Gloeocapsa caldariorum RABH. ×700

形叉へ精圓形ノ單細胞ノ個體ガ無數=寒天質ノ中=アルノガ判ル。此ノ屬ハオースタリーノ Suringer 氏ガ水前寺苔ノ製品=就キ、研究シテ設立セラレタノデ、Sacrum トハ sacred ノ意デ水前寺ノ境内=生ズル所ヨリ名付ケラレタノデアラウ。一屬一種デアル。此屬ノ確立性=就イテモ大分疑問ノ點モアルト考へルガ、鬼モ角、慣例=隨ツテ置ク。 採集地: 熊本市

16. Microcystis sp. (Chroococcaceae)

流水中ニ生ズル藍藻デ微細ナ球形ノ個體ガ無數ニ集ツテ寫眞ノ様ナ群體ヲ形 成シテヰル。色ハ綠色デ、寒天質ナル事前者ト同ジデアル。

採集地: 武州、石神寺附近 (Nov. 1933)

17-18. Gloeocapsa caldariorum RABH. (Chroococcaceae)

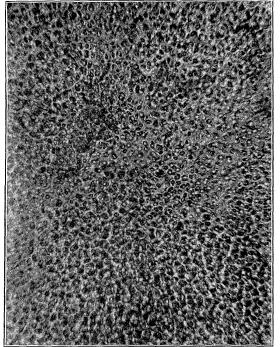


Fig 19. Oncobyrsa adriatica Hauck. ×300

温室内ノ素焼ノ植木鉢ノ面ニ生ゼルモノヲ採集シタ。暗黄緑色デ起伏アル軟イ膜狀ノ群體ヲナシテヰル。個體ハ膜=包マレタマ、分裂シ、各娘細胞ョリ遂次ニ新シイ膜ヲ分泌スルノデソレラノ膜ハ同心圓狀ノ紋ヲアラハス。

採集地: 東京市內 (Nov. 1933)

19. Oncobyrsa adriatica Hauck

岩鬚 Myclophycus caespitosus ノ體上=不規則ナ 褐色ヲ帶ビタ塊狀ヲナシテ 附着シテヰル。幼時ハ割合 ニ密=細胞ガ並ンデ組織狀 ヲナシテヰルガ成塾スルト

細胞ハ個々=分離シテ Chroococcaceae ノ個體ノ様=ナル。細胞ノ形ハ圓形、楕 圓形等デアル。本種ノ確立性=ツイテモ疑問ヲ持タレテヰル人ガアルガ暫ク本 學名ヲ採用致シテ置ク。 採集地: 伊豆、下田海岸 (Nov. 1933)

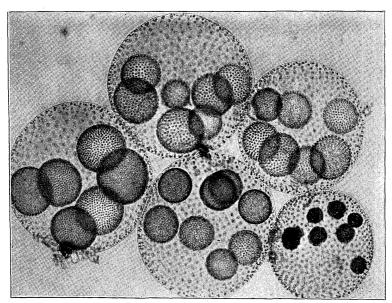


Fig 20. $Volvox\ sp. \times 70$

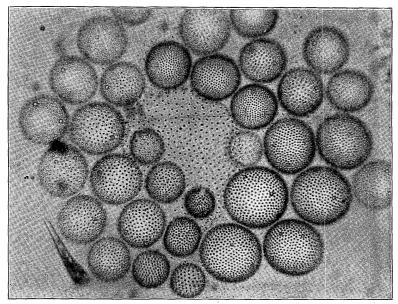


Fig 21. $Volvox\ sp. \times 70$

20-22. **Yolvox sp.** (Volvocaceae)

田間ノ池、水溜、溝等=普通生ズル屬デアルガ、イザ、コレカラ採集致シテ來ヨウトスルト中々見出シ憎イモノデアル。モツトモ毎年同ジ場所=生ズルモノデアルカラ、例へバ東京附近ナラバ多摩川ベリ或ハ、赤羽附近等、ソノ場所サへ心得テ居レバ確實=何時デモ求メル事ガ出來ル。僕等ノ所デハ尺立方位ノ

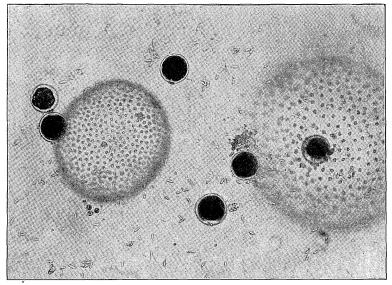


Fig 22. Volvox sp. ×130

ガラス箱 / 底 = 砂利ヲ入レタモノヲ用ヰテ、數年來培養致シテ居ル。寫眞ノ 21, 22 ハ懸滴培養下 = 現レタモノデ、 前者ハ多數ノ娘細胞群落ガ母體ヲヲシ破ツテ生長セルモノ、中央 = 影ノ如ク母體ノ亡骸ガ見エル。 22 圖 = テ數個ノ濃クアラハレテヰル球狀ノモノハ、受胎セル卵球デ濃褐色ヲ呈シ、休眠狀態 = アル。尚團群ノ個體(又ハ細胞)間ヲ連絡スル原形質糸ハ明 = 寫ス事ガ出來ナカツタ。 繊毛ハ勿論圖デハ見エナイ。 採集地: 多摩川沿岸(Oct. 1932)